

2023 (令和5) 年度

黒潮町の一般会計当初予算は 109億8,500万円です

— 前年度比2.2% (2億3,500万円) の増額となりました —

一般会計の概要

令和5年度当初予算は黒潮町当初予算編成基本方針および黒潮町総合戦略に基づき、「新型コロナウイルス感染症における感染予防の継続とウィズコロナの時代を見据えた経済対策の推進」「製造業と二次産業を軸にした新産業創造事業の取り組み」「妊娠期から子育てまでの包括的な支援体制の強化」「黒潮町版地域包括ケアシステムの深化による地域社会の構築」「自ら考え判断し行動できる力、学び続ける力の育成」「全ての自然災害に対する『防災・減災』施策の推進」「移住・定住対策の推進及び安全な住宅地の形成」「高規格道路の早期完成と関連事業の推進」「カーボンニュートラル社会などSDGs(※1)の展開とDX(※2)活用による『新しい時代』に対応したまちづくりの推進」の9点を重点項目とし、住民ニーズへの確に対応できるように予算の計上を行っていきます。

黒潮町の令和5年度一般会計当初予算は、前年度比2.2% (2億3千500万円) 増の109億8千500万円となっております。また、11個の特別会計を加えて重複分を除

いた純合計は144億675万3千円(1.9%) (2億6千422万6千円) の増となっております。

一般会計の増額の主な要因は、高規格幹線道路等関連公共施設整備促進事業工事、幡多広域市町村圏事務組合清掃費負担金などの普通建設事業費、補助費などの増加によるものです。

4年連続100億円を超える大型予算となり、後年度への財政負担を最小限とするためにも、限られた財源を有効活用し、行政サービスの向上と住民福祉の増進に向けて取り組んでいかなければならないと考えています。

※1 Sustainable Development 2030 opment Goals の略。2030年までに持続可能でよりよい世界をめざすための国際目標。

※2 Digital Transformation の略。デジタル技術によって人々の生活をよりよいものに変革すること。

歳入

歳入は、町税8億3千463万6千円(前年度比4.5%増)など自主財源が33億9千67万5千円(構成比30.9%)、地方交付税41億円(前

年度比2.4%減)など、依存財源は75億9千432万5千円(構成比69.1%)を見込んでいます。

町債は11億7千740万円(前年度比23.5%増)で、臨時財政対策債(赤字地方債)2千万円、過疎対策事業債6億8千20万円、公営住宅建設事業債1億6千250万円、旧合併特例事業債1億9千370万円、などとなっております。令和5年度末の起債残高は105億1千270万1千円となる見込みです。

基金の繰入額は財政調整基金や特目基金など10億9千97万6千円(前年度比23.1%増)を予定しており、令和5年度末の基金残高は46億1千688万5千円の見込みです。

歳出

歳出は、目的別では予算額の多い順に総務費25億2千392万4千円(前年度比4.8%減)、民生費24億7千28万2千円(前年度比2.7%増)、公債費16億3千351万8千円(前年度比3.1%増)で、上位3部門のみで全体の59.8%となっております。

性質別では、義務的経費が人件費16億8千365万2千円(前年度比0.3%減)、扶助費6億5千69万

特別会計	住宅新築資金	232万7千円
	宮川奨学資金	1,482万2千円
	情報センター	3億1,646万1千円
	国民健康保険	17億5,073万1千円
	国民健康保険直診	6,167万4千円
	介護保険	18億1,958万9千円
	介護サービス	1,939万6千円
	農業集落排水	8,915万8千円
	漁業集落排水	851万4千円
	後期高齢者医療	2億3,601万2千円
	水道事業	2億7,194万6千円

特別会計とは、特定の事業を行う場合にその経費を明確にするために一般会計と区分して設けられた会計です。

黒潮町では、一般会計と重複する給与等集中処理特別会計を除いて11の特別会計があります。

特別会計

5千円(前年度比8.0%増)、公債費など39億6千786万5千円(構成比36.1%)を計画し、投資的経費は普通建設事業17億4千651万7千円(前年度比3.4%増)など17億7千248万2千円(構成比16.1%)を予算計上しています。

令和5年度 9つの重点項目事業

◆ 製造業と一次産業を軸にした新産業創造事業の取り組み

地場産品外商力強化事業	139万9千円
地場産品商社機能拡充事業	130万4千円
園芸用ハウス整備事業	6,287万円
農業次世代人材投資資金「経営開始型」	1,237万5千円
新規就農者育成総合対策事業	2,737万5千円
ほ場整備事業	4,816万7千円
投石魚礁設置事業	1,190万円
新規漁業就業者支援事業	200万円
漁船導入支援事業	500万円
新漁業等挑戦促進事業	135万円
佐賀地区漁業集落環境整備事業	3,382万8千円
新たな森林管理システム調査事業	1,000万円
松くい虫防除対策	537万2千円
有害鳥獣被害防止対策事業	2,386万4千円

◆ 妊娠期から子育てまでの包括的な支援体制の強化

在宅子育て応援事業補助金	1,862万円
小中学生医療助成事業	1,534万6千円
乳幼児医療助成事業	1,189万4千円
不妊治療補助金	40万円
妊婦乳児一般健康診査	454万6千円
出産・子育て応援交付金事業	450万円

◆ カーボンニュートラル社会などSDGsの展開とDX活用による「新しい時代」に対応したまちづくりの推進

地球温暖化対策実行計画(事務事業編)改定業務委託	154万6千円
スマート自治体の構築事業	6,667万円
保育のICT化対応	882万1千円

◆ 新型コロナウイルス感染症における感染予防の継続とウィズコロナの時代を見据えた経済対策の推進

コロナ対策に特化した予算計上は行っていません。これまでの各種事業の効果・検証を行い、必要な施策を推進していきます。

◆ 黒潮町版地域包括ケアシステムの深化による地域社会の構築

あったかふれあいセンター事業委託	7,110万円
集落活動支援センター活動支援費	1,397万8千円
デジタル化実証支援事業	1,000万円
重層的支援体制整備支援事業	5,654万6千円

◆ 自ら考え判断し行動できる力、学び続ける力の育成

学校支援員配置事業(小学校・中学校)	2,493万円
ふるさとキャリア教育	324万7千円
外国語教育専門員	294万3千円
ICT支援員配置委託	930万6千円
大方高校支援事業費	6,786万2千円
黒潮町「総合的な学習の時間」授業力向上支援委託	271万7千円

◆ 全ての自然災害に対する「防災・減災」施策の推進

木造住宅耐震改修事業	1億2,395万8千円
ブロック塀対策費補助金	300万円
事前復興まちづくり計画策定委託	2,507万6千円

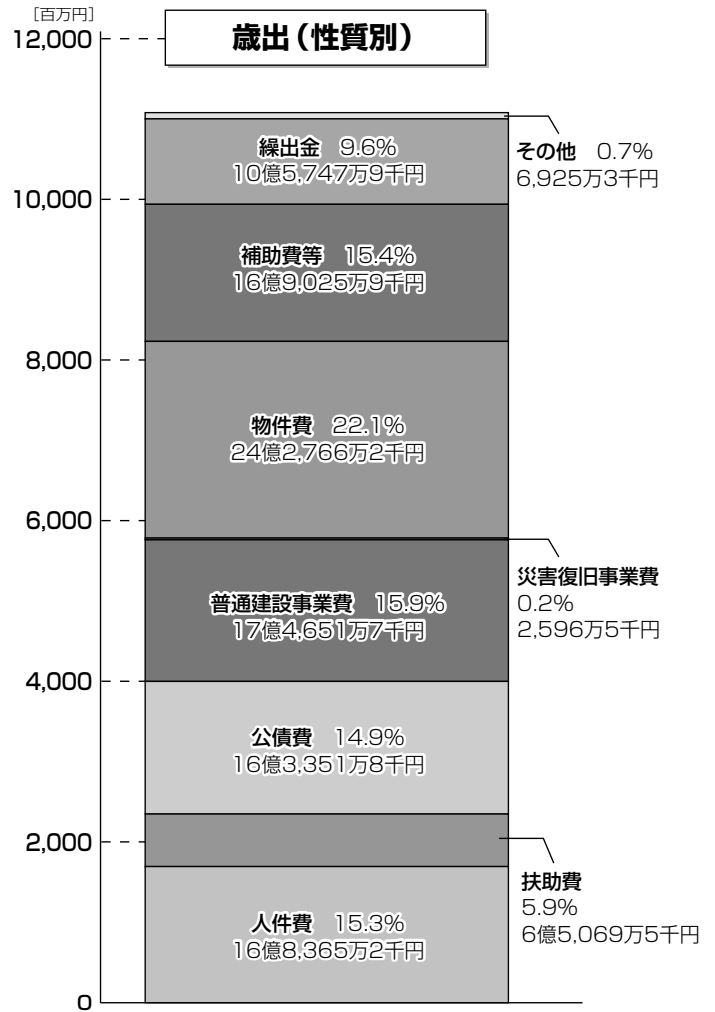
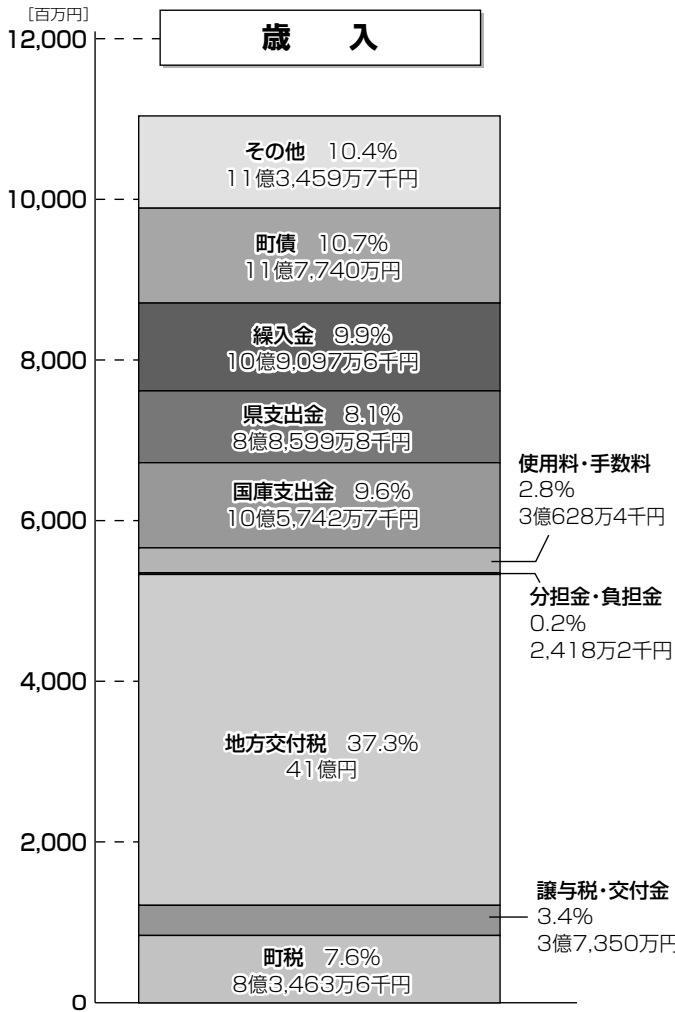
◆ 移住・定住対策の推進及び安全な住宅地の形成

町営住宅整備事業	3億4,118万7千円
定住促進住宅整備事業	5,000万円
移住者支援事業	2,671万3千円

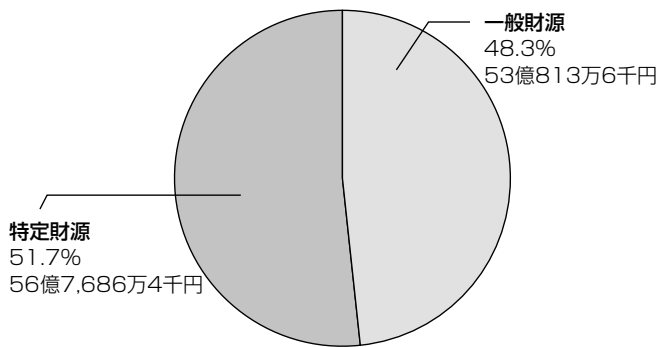
◆ 高規格道路の早期完成と関連事業の推進

高規格道路等関連施設整備事業	1億7,575万3千円
----------------	-------------

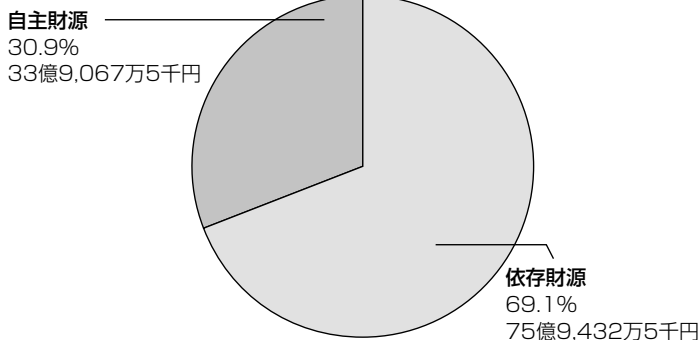
令和5年度一般会計当初予算の内訳



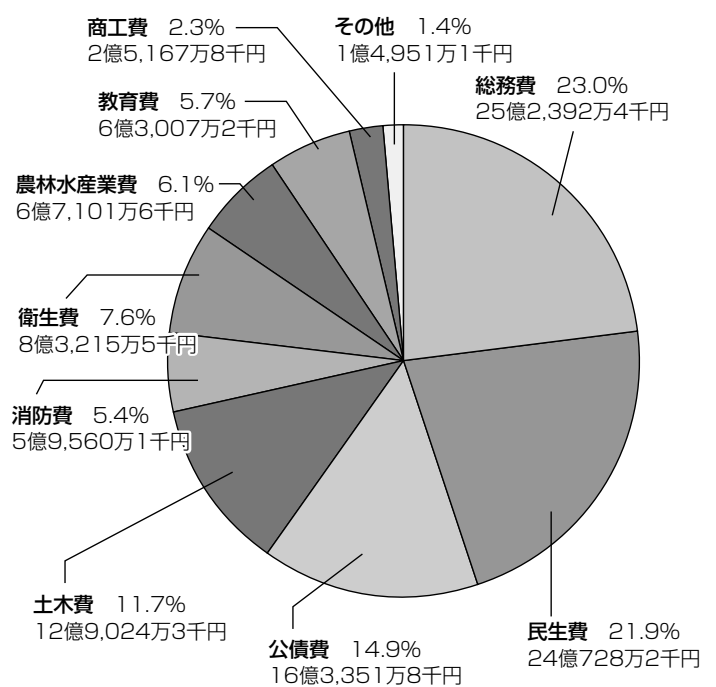
特定財源・一般財源の別



依存財源・自主財源の別



歳出(目的別)



総務費

242,429円

庁舎の維持管理、財政、地籍調査、選挙、人事、企画、税や戸籍に関する事務など、一般的な事務にかかる経費です。



令和5年度当初予算のうち、一般会計において町民1人当たりに使われるお金は次のようになります。

当初予算÷人口=町民1人当たり…

1,055,135円

※令和4年12月31日現在の人口(10,411人)で算出



町民1人当たりの
予算の使い道



農林水産業費

64,453円

農林漁業の推進や、新規就農者・漁業者推進にかかる経費です。ほかにも農道整備、漁港整備に使われています。



衛生費

79,930円

し尿処理などの環境保全、健康増進への取組、予防接種などの疾病予防にかかる経費です。



民生費

231,225円

高齢者や体に不自由がある人に対して、福祉の充実に使われる経費です。また、子育て支援などにも使われます。



消防費

57,209円

防災無線・消防設備・消防団にかかる防災経費や、災害対策にかかる経費です。



土木費

123,931円

道路・河川・橋の整備や点検など、地域のインフラ整備にかかる経費です。



商工費

24,174円

観光やスポーツツーリズムの推進、地域の商工業推進にかかる経費です。



その他

14,361円

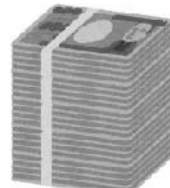
議会の運営経費や災害復旧費にかかる経費などです。



公債費

156,903円

町が借りたお金を支払うために使われる経費です。



教育費

60,520円

小中学校の運営や人権教育の推進、生涯学習活動にかかる経費です。

